

上島町の皆さんこんにちは！魚島地区担当ALTのストライカー・ブライアンです。

僕は高校生の時、2回日本に留学し、大学3年生の時もう一回旅で日本に来て、どんどん日本の文化に慣れてきました。先日、僕の両親が初めて来日した時の日本の印象や驚きを見ると、「同化」、「家」、「母国」という言葉について考えさせられました。

人間は自然に周りの雰囲気を見て、子供の時から相手の行為を真似ています。そうすることで言語とコミュニケーションが出来ます。だから、人間の知識は真似ることと関係あります。周りの行為を真似ないとコミュニケーションが出来なくて、多くのことが理解できず、永遠に子供ぐらいの知性しかないかも知れません。人間は周りの雰囲気を真似ないと政府が国民を治安できないそうです。法律やルールはあり得ないことになる可能性もあります。だから、真似ることは大切なことです。

それと同時に、人間は主観的な見方もあります。相手の顔や行為を見れば、相手の感情や考えていることが大体分かるかも知れませんが、全く同じように感じることはできません。だから、完璧には「同化」できません。自分の主観は先天的なものだからです。

人間は雰囲気を体験することと性分から成り立っています。「家」と「母国」という概念は自分で決めることだと思いますが、同時に自分の考え方は周りに影響を与えられると思います。僕の両親



親は日本に来ることで、見方が広がりました。他の国の習慣や生活を経験したら、母国の文化を厳しく評価することは多いです。両親は日本の素晴らしいところをみると、アメリカも同じようにしたらいと思う反面、異文化で理解できなかったところもありました。他の国に旅行したり、暮らしたりすると、自分が真似ていることが多くなって、どの習慣をしたらいいかを考えなければなりません。そうすることによって、もっと個性的になる可能性があります。

僕の両親は日本に来て、観光より普通の生活や伝統的な所を見たかったので、僕が留学した時の住んでいた町や今の生活を案内しました。このことを見せられて嬉しいです。滋賀県の石山寺は僕の一番好きなお寺ですが、何で好きかと聞かれたら、うまく言葉に出来ないけど、できる限り説明しました。この経験を通して、両親は僕のこともっと分かるようになったと思います。僕は日本で生活をして、周りを真似て、普通のアメリカ人の生き方と違ってきています。両親は日本に来なければ、僕の考え方や生き方は分かりにくかったかも知れません。この旅で、僕の両親は何となく僕が想像している「家」と「母国」が分かるようになりました。現在の行為や発想はどうしてそのようになっているかと考えれば、面白いですね。



各地区の英会話教室

《弓削》毎週月曜日 13:30~

弓削地域交流センター第1会議室

《生名》毎週月曜日 9:00~ 生名公民館

毎週火曜日 19:30~ 生名公民館

《岩城》毎週木曜日 20:00~ 岩城総合支所庁舎

《魚島》毎週水曜日 19:30~ 魚島開発センター

「えひめ河川（かわ）メール」への登録について

「えひめ河川メール」は、あらかじめ登録設定した地域の河川の水位や降雨量が基準値を超過した場合のほか、県が管理するダムの放流情報などを、県民の皆さんにメール配信するサービスです。

みなさんがお使いの携帯電話やスマートフォン、パソコンからご利用いただけますので、ぜひ登録して“みずから”身を守りましょう！

○問い合わせ先 愛媛県庁 河川課

○電話番号 089-912-2672

○登録はこちらから <http://www.kasenalarm.pref.ehime.jp>

